

ウェブサイト運営にあたり、  
契約しなければならないもの

# はじめに

以下のケースを例に、説明させていただきます。

起業したばかりの会社が、

①自社のウェブサイト

②自社のメールアドレス

を作成し、今後運用・運営していく…。

## ウェブサイト



<http://example.com>

## メールアドレス



info@example.com  
yamada@example.com  
suzuki@example.com  
tanaka@example.com

# 契約しなければならないもの ① ドメイン

ドメインとは、ウェブにおける住所のようなものです。

例えば、

- example.com
- example.jp
- example.co.jp

などです。



購入したドメインは、

- ウェブサイトのURL (<http://example.com>)
- メールアドレスの@以下 ([info@example.com](mailto:info@example.com))

となります。

あくまでも権利を買うだけですが、契約は絶対に必要です。

ドメインを購入しなければ、ウェブサイトやメールアドレスは存在することができません。

目安費用：**1,000円～ / 1年**

プロバイダ：[さくらインターネット](#)・[ムームードメイン](#)・[お名前ドットコム](#)

## 契約しなければならないもの ② レンタルサーバー

サーバーとは、ウェブサイトやメールアドレスを実際に動かす（機能させる）コンピュータです。サーバーがなければ、ウェブサイトもメールも何も動きません。

契約方法ですが、**サーバーを利用する権利をレンタル契約する**のが一般的です。  
（コンピュータが実際に手元に届くわけではありません。通信でデータを送るだけです。）

ウェブサイトを運営するためには、レンタルサーバーの契約が必須とお考えください。



目安費用：初期費用1,000円～ + **6,000円～ / 1年**

プロバイダ：さくらのレンタルサーバ・ロリポップ・エックスサーバー

# 契約を検討すべきもの SSL

※これは必須ではありません。

ウェブサイトにて、お問い合わせフォームやエントリーフォームを構築する場合、ユーザーの個人情報を通信で扱うこととなります。

特に、住所・クレジットカード番号などのデリケートな個人情報を必須項目として聞きたい場合は、パソコンとサーバ間の通信データを暗号化し、第三者によるデータの盗聴等を防止すべきです。この考え方をSSLと呼びます。

SSLを導入したウェブサイトは、URLが「https」から始まり、鍵マークが表示されます。

一般的な企業のサイトで、SSLを取り入れているかどうかは、半々といったところです。重要な個人情報を扱わないのであれば、SSL導入は急がなくてもよいでしょう。



目安費用： **1,500円～ / 1年**

プロバイダ：[さくらのSSL](#)